



# 知床エコツーリズム戦略の見直し

## とインタープリテーション全体計画の検討について

- ◆ 知床世界自然遺産地域管理計画の改定作業が終了
- ◆ 知床エコツーリズム戦略は策定から12年が経過し、見直しの時期
- ◆ 全国の国立公園でインタープリテーション全体計画が検討され始めており、知床国立公園でも検討に着手

### 知床エコツーリズム戦略の見直し <期間:2024~2025年度>

知床のエコツーリズムを取り巻く状況やIP全体計画の検討状況を踏まえ、エコツーリズム戦略の見直しを行う

- 見直しの柱
1. 良質な自然体験の提供(→IP全体計画に関係する項目)
  2. リスクマネジメント
  3. 利用のゾーニングとイメージ

### 2024年度の業務

- (1) 知床エコツーリズム戦略の課題整理
- (2) 見直しの要点整理と構成案の作成

# IP全体計画の検討 <期間:2024~2025年度>

## IP全体計画作業部会の設置について

IP全体計画は、作業部会を設けて検討を進める。

名称:IP全体計画作業部会(仮称)

目的:IP全体計画の詳細な事項を検討する

構成員:コアメンバー(4名程度)+アドバイザー(専門家)【事務局】環境省+請負業者

※敷田委員(座長)の最終確認を経て決定

※地域性のバランスに配慮

検討内容:2024年は、地域資源の価値やストーリーを主に検討

“国立公園の感動体験創出事業(環境省執行分)”で業務を実施

## 2024年度の業務

(1) 地域資源に関する既存情報の整理と分析

(2) 地域資源の価値の整理と磨き上げ

関係者や地元住人から地域資源の価値などを聞き取るワークショップを各地で開催

(3) 知床の価値を伝えるストーリーの作成

(4) 知床の価値を伝えるストーリーのインナーブランディングの戦略を検討

(5) 来訪者分析(→次年度以降に検討する観光プロモーションに関係)

# “エコツアー戦略の見直し”と“IP全体計画の検討”との関係性と作業行程

